



おぢか中だより



学校HP

目指す学校像「共に学び合う学校」「共に支え合う学校」「共に高め合う学校」
目指す生徒像「求めて学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「たくましい生徒」

小値賀町立小値賀中学校
文責：校長 張本 潤

学習や学校行事、日々の学校生活を通して、生徒たちはこの1学期も様々な経験を重ねてきました。その中で、一人一人がどのようなことを感じ、何を学び、どのような成長を実感しているのでしょうか。生徒自身が振り返った言葉から、1学期の歩みを紹介します。

終業式

終業式 生徒代表のこたば

1学期を振り返って

1年 ○○ ○○

1学期を振り返ってよかったことは、「みんなで協力して新しいことにどんどん取り組めたこと」です。例えば4月の歓迎遠足ではみんなで意見を出し合い、それぞれの個性が爆発した自己紹介をすることができました。5月の中高合同体育祭では、わからないことなどは、友達や先輩方に聞きながら練習に取り組み、当日には自分の役割に責任をもって取り組み、練習の成果を十分に発揮することができました。

1学期を振り返って課題が2つあると思います。

1つ目は黙想の仕方です。時間を守り、黙想をする人もいましたが、黙想せずに、周りの様子を見ている人、授業の準備ができておらずに黙想の時間になってから教材をロッカーに取りに行く人など、黙想をすることができていない人がいました。2学期は、しっかり時間をみて行動し、2分前には教材を机に置いて、黙想し、落ち着いた雰囲気ですべての授業に入ることができるよう、1人1人が心掛けていきましょう。

2つ目は整理整頓です。4月と比べて、身の回りが整っている人が多くなりましたが、ロッカーの中の教科書の上下が逆になっていたり、机、ロッカーからプリントが飛び出したりしている人も、まだいます。整理整頓されていないと、どこに何があるのかわからなくなり、次の授業の準備に時間がかかったり、プリントや課題を親に出せず、提出期限に間に合わなくなってしまったりしています。2学期は毎時間授業後に整理整頓を行い、いつだれが見てもきれいなロッカー、机の中にします。

1年生の皆さん。2学期にも、新しい行事が多くあります。学級目標である「百折不撓」のもと、みんなで協力して新しいことにどんどん取り組みながら、この2つの課題を普段から意識して学校生活を送り、充実した学校生活にしましょう。

みなさんは、自分の気持ちを周りの人にしっかりと伝えられていますか？

私はこの1学期を通して、「心の中で思っていることを、言葉にして相手に伝えること」の大切さを学びました。1学期の生活の中で、私は「自分で正しいと思ったことは、勇気を出して言う」ということを意識してきました。

みんなと過ごす中で、「これは違うんじゃないか」と思ったり、「こうする方がいいな」と気づいたりすることがあります。そんな時、今までは「嫌われたらどうしよう」と不安になって、黙ってしまうことがありました。

でも、勇気を出して自分の意見を言ってみると、みんなが「なるほど」と納得してくれたり、より良い方法が見つかったりしました。正しいと思うことを伝えることは、自分にとっても周りのみんなにとっても、とても大切なことだと実感しました。

もう1つ、私が大切だと気づいたのは、「つらい時は無理をせず、その気持ちを伝える」ということです。頑張ることは素晴らしいことですが、どうしてもつらくてしんどい時もあります。そんな時に一人で無理をして抱え込んでしまうのではなく、「今、ちょっとつらいんだ」と周りに伝える。そして、お互いにそういう気持ちを「伝えあう」ことができれば、助け合うことができます。

自分の「つらい」を素直に言えること、そして相手の「つらい」も優しく受け止めること。この「伝えあい」があるからこそ、私たちはもっと仲良くなれるのだと思います。

1学期に学んだこの「伝える勇気」と「伝えあう優しさ」を忘れずに、2学期もみんなと支え合いながら、もっと良いクラスにしていきたいです。

3年生に進級した当初は、進路決定や先輩としての姿を意識する機会が増え、不安やプレッシャーを感じることもありましたが、1学期を終えた今、私の1学期はそれを跳ね除けるほどのきらきらとした思い出で溢れています。

何より心に残っているのは、クラスメイトや先生方と過ごした日常です。何気ないことで笑い合い、くだらないことで盛り上がる。

3年生になると、様々な行事に「最後の」という言葉がつくようになります。今のメンバーで過ごす日々も、いつか思い出に変わっていくのだと思うと、何気ない毎日の大切さを感じます。そんな当たり前の毎日が、どれほど特別でかけがえのないものか、深く実感しています。

そして、今学期一番私たちの成長と青春を感じたのは体育祭でした。終了後、友人に感想を尋ねると、「楽しかった」という声のほかに、いくつかの後悔や反省の言葉も返ってきました。「もっと3年生らしく、私たちが中心となって盛り上げられたらよかった」「もっと積極的に行動できたかもしれない」。そのような反省が出たことは、ただ楽しかっただけで終わらせず、自分たちの姿を振り返ることができた証だと思います。2学期には学習発表会や修学旅行、模擬議会など、多くの行事があります。3年生として周囲を引っ張るだけでなく、仲間と協力しながら学校生活をより良いものにできるよう、積極的に声をかけたり、責任を持って行動したりしたいと思います。体育祭で感じた悔しさや反省を次への成長につなげ、残りの学校生活でも「自分たちが中心となって作り上げる」という意識を持って過ごしていきたいです。

そんなふうにみんなとの時間を振り返っていたら、ふと、「青春と一瞬は切り離せないものなんだな」と感じました。限られた時間だからこそ、日々はかけがえのない思い出になっていくのだと思います。このきらきらとした日々も、いつかは「過去」という一瞬の思い出になってしまいます。今学期は、限られた時間の尊さを知り、全力で楽しみながら、毎日を駆け抜けることができました。

2学期になると、進路という大きな壁が目の前に立ちはだかります。でも、私たちなら大丈夫です。3年間で確かめ合った絆と、お互いを高め合える強さがあれば、どんな暗闇だって照らしていけると信じています。残された「一瞬」を、2学期も楽しみながら、この最高の仲間たちと共に、最後まで笑顔で駆け抜けていきたいです。

そのために、修学旅行では、他の地域の良いところや取組を学び、これからの小値賀に生かせることを考えていきたいです。また、模擬議会や学習発表会では、修学旅行で学んだ経験を自分たちの言葉として多くの人に伝えられるよう積極的に意見を出していきたいと思います。私たちの経験や感じたことが、小値賀の未来や自分の未来を考えるきっかけになるよう、責任を持って取り組んでいきます。

また、受験に向けての学習では、その都度目標をしっかりと立てたり、自分でテストをして自分の学びを確認したりするなど、PDCA サイクルを意識しながら取り組んでいきたいと思います。受験に向けて見通しをもって学習していきたいと思います。勉強や学校行事、日々の何気ない時間も仲間と支え合いながら、悔いの残らない残りの中学校生活にしていきたいと思います。そして、最後には「この仲間たちと同じ時間を過ごせて幸せだった」と胸を張って言えるような、一生の思い出に残る学校生活を作りたいです。

心身ともにリフレッシュし、普段の学校生活ではできない経験や挑戦を通して、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。2学期に、元気な皆さんと笑顔で会えることを楽しみにしています。

